

tRNAIle2-アグマチニルシチジン合成酵素

Cat. No. EXWM-5792

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 古細菌Archaeoglobus fulgidusからの酵素は、古細菌tRNAIle2のCAUアンチコドンのワブル塩基を、シチジン34の位置2にあるオキソ基で修飾します。この修飾は、遺伝コードの正確な解読にとって重要です。細菌EC 6.3.4.19では、tRNAIle-リジン合成酵素が、[tRNAIle2]-シチジン34を[tRNAIle2]-リジン34に修飾する反応を触媒します。

別名 TiaS; AF2259; tRNAIle2-アグマチニルシチジン合成酵素; tRNAIle-agm2C合成酵素; tRNAIle-アグマチジン合成酵素

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 6.3.4.22

反応 $\text{ATP} + \text{アグマチン} + [\text{tRNAIle2}]\text{-シチジン34} + \text{H}_2\text{O} = [\text{tRNAIle2}]\text{-2-アグマチニルシチジン34} + \text{AMP} + 2 \text{リン酸}$

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期保存の場合は+4 °Cで保管してください。長期保存の場合は-20 °C~-80 °Cで保管してください。